

# 求人基本料を無料に



## 動画サイト運営

## プロアライアンス

■5



基本的なサービスを無料で使える「ウェブdeつながる-okinawa」を開始したプロアライアンスの大城佑斗社長。「採用コストを減らすことで県経済の回復に貢献できればいい」と話す=18日、那覇市銘苅

動画求人サイト「オキナワ」の運営などを手掛ける、求人業界も活況だった。プロアライアンス(那覇市)は、企業、求職者双方が基本的なサービスを無料で利用できる求人応援サイト「ウェブdeつながる-okinawa」を立ち上げた。大城佑斗社長が以前から温めていたアイデアだが、新型コロナウイルス感染症の影響で中小企業の業績が低迷し、採用コストが重くのしかかっている現状を見て、着手から1カ月という急ピッチで構築した。

県内は2019年まで長く続いた好景気により、採業界の収益モデルは企業から求職者へシフトしている。大城社長によると、求人採用に力を入れる企業が多くなり、求人業界も活況だった。しかし、新型コロナウイルスは状況を激変させた。19年に復帰後最高の平均1・19倍を記録した有効求人倍率は、直近の20年7月は0・67倍(季調値)と大幅に悪化した。採用中止や採用数の減少などを決めた企業も増えていく。求人事業者も、求人依頼の減少や合同説明会の中絶などで苦しい状況が続いている。

### 収益モデルを変化

## 企業の採用コスト軽減



プロアライアンスが立ち上げた求人応援サイト「ウェブdeつながる-okinawa」

「ウェブdeつながる-okinawa」は、掲載料や成功報酬を取らず、今後順次追加していく予定の上位表示や動画面接などのオプション機能から収益を得るフリー型のモデルだ。求人検索エンジンのIndeedに近い形という。

現在、105社から150件の求人があり、登録求職者も約500人になる。サービス公開2カ月で急速に利用者が増えている。「他の求人情報では見ることができない企業からも求人があり、確実にニーズがある」と手応えを感じている。既存サイトの「オキナビ」との相乗効果も見込んでいる。

### 「検索エンジン」

大城社長は、沖縄でも将来的には労働人口の減少が見込まれる一方で、デジタル技術の進歩により求人情報を伝える媒体は増加するとして、企業と求職者の接点により複雑化していくと見ている。企業は母数の減った人材を獲得するため複数の媒体に求人情報を出す必要が生じ、採用コストの増大が予想される。さらにコロナ禍で中小企業が採用に掛けられる費用はより限定されていることから、接点をよりシンプルにするサービスが求められている。

大城社長は「一つのサイトに沖縄中の求人情報が集まれば、企業と求職者双方に使いやすいプラットフォームになる。採用コストも軽減できる」と話す。

経済回復の見通しは不透明だが、今後は「非接触」をキーワードに働き方そのものが大きく変化すると考えている。「激動する時代に、苦境を乗り越えるために必要なのは人材だ。求人事業者にとって、企業の業績回復は生命線に等しい。低コストで効率の良い求人サービスの提供で少しでも貢献したい」と力を込めた。

(沖田有香 (おわり))

下記のQRコードから連載に登場した大城氏のインタビューを見ることが出来ます。

